

# 明

〔2〕年

メイ・ミヨウ  
あかり・あかるい・あかるむ・あきらか・あける・あく・あくする・あかす

8画  
日 月 日 明 明 明

〔なりたち〕 日と月との会意字

で、「明るい」という意味を表した字。日は昼、月は夜を明るく照らすからである。この字には、四(月)と月との会意字の「明」という字体もある。窓から月の光が差し込んで明るいという意味である。



いみじゆくこ

▼明るい。  
▼明暗：明るいことと暗いこと。  
▼明かりがつく。  
▼明減：明かりがついたり消えたりすること。  
▼目がよく見える。視力。  
▼失明：目が見えなくなること。  
▼明らか。  
▼明白：明らかで疑問の余地がないこと。

▼明かす。はつきりさせる。  
▼説明：相手が理解できるように、説き明かすこと。  
▼賢い。  
▼聡明(さうめい)：理解力が優れ賢いこと。

▼明ける。夜が明ける。  
▼明くる。次の。例明日  
▼神明(かみ)：天地神明  
▼さんこう 特別なよみかた↓

# 暁

ギョウ  
あかつき

12画  
日 日 日 暁 暁

〔なりたち〕 旧字体は暁。高

意味の堯(ぎょう)と、日との会意形声字。日が高く上がって、夜が明けたことを表した字。「あかつき」のこと。転じて、「明るい・悟る」の意味に用い



暁

いみじゆくこ

▼暁。  
▼暁天：明け方の空。明け方。  
▼用例 暁天の星。(非常に数が少ないことのとえ)

▼暁星：明け方の空に残る星。特に、明けの明星。  
▼暁鐘：夜明けを知らせる鐘。  
▼今暁：今日の明け方。  
▼早暁：明け方。  
▼払暁：明け方。  
▼暁暗：日が出る少し前の暗闇(くら)

▼明るい。悟る。はつきりする。  
▼通暁：①ある事について、隅から隅まで詳しく知っていたこと。用例 東洋史に通暁した人。②夜通し。

# 暗

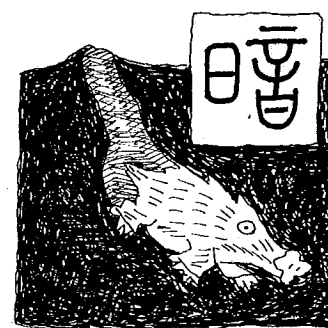
〔3〕年

アン  
くらい

13画  
日 日 日 暗 暗 暗

〔なりたち〕 闇(く)の門(か)で音

だけ聞こえて姿が見えない意味で、「やみ」の意味の音と、日との会意形声字。日が沈んで、闇(く)になるという意味の字で、「くらしい」ことを表した



いみじゆくこ

▼暗い。  
▼暗黒：①暗闇(く)。②不正がはびこっていること。例 黒街 ③文明が遅れていること。例 暗黒時代

▼暗黒：①海中に隠れて見えない岩。②思いがけない困難のたとえ。用例 計画が暗礁に乗り上げる。  
▼それで覚える。

▼暗君：愚かな君主。反明君  
▼隠れて見えない。  
▼暗礁：①海中に隠れて見えない岩。②思いがけない困難のたとえ。用例 計画が暗礁に乗り上げる。  
▼それで覚える。

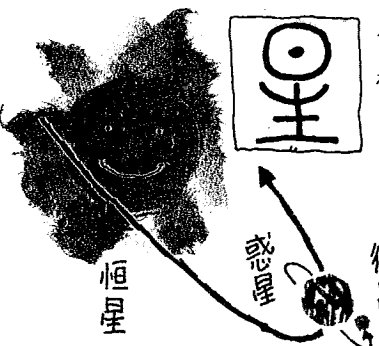
# 星

セイ・シヨウ  
ほし

9画  
日 日 戸 旦 星

〔なりたち〕 日と生との会意形

声字。生は生まれたもの、子供の意味で、星を「子供の太陽」と見て作られた字。星は「日から生まれたもの」とも考えられる。



いみじゆくこ

▼星。  
▼星座：恒星をいくつかのグループに分けて、その形にちなんで名前を付けたもの。大熊座、双子座など。  
▼星宿：昔、中国で、星を二十八のグループに分けたもの。  
▼星雲：無数の星が集まって雲のように見えるもの。  
▼恒星：地球上で互いの位置をほとんど変えない星。例えば太陽など。  
▼惑星：太陽の周囲を公転する星。遊星。例えば地球など。  
▼年月。時の流れ。  
▼星霜：年月(星は一年で天を一周し、霜は年ごとに降ることから)。例 幾星霜

▼重要な人物。  
▼巨星：大きな星の意味から、偉大な人物。用例 巨星(偉大な人物が死ぬ)。

# 暁星